

Rainbow Project 日本語版 会話：銀行編はしがき

口座開設、通帳再発行、円への両替という設定で、株式会社ジニアスの協力のもと、池袋 BLUE st における銀行のセットで撮影しました。窓口行員役はこれまでにない台詞の量となりましたが、撮影時間や人員配置など様々な制約の中、学生がその時にできる全力を尽くしてくれたと思っています。

銀行編は、銀行や信用金庫に勤めている日本語学科卒業生に、窓口でのやり取りに関する説明手順や所作などの確認をとりながら、この撮影用書き下ろししました。設定は以下の通りです。

口座を作りたいのですが。

※窓口で口座を開設するという設定。

円に両替したいのですが。

※ドルを円に両替できるかを確認するという設定。

通帳をなくしたのですが。

※通帳を紛失したため、窓口で再発行してもらおうという設定。

銀行編では、窓口でのやり取り以外に、銀行ならではのいくつかのシーンがあります。窓口でのやり取りは共通語主体となっていますが、それ以外のシーンで大阪方言や群馬方言が登場します。

カット割りについては、窓口シーンについては、行員役の人数や小道具を考慮した結果、玄関側からみて左側を中心にカウンター内を撮影しています。他に、記帳台、ATM、応用パーテーションといった実際の銀行で見られるものが再現されています。

また、銀行編については、全てを1本につないでしまうと、ついさっき口座を開設した客が数分間に通帳を紛失したことになってしまいますので、今回は個別チャプターのみになっています。

現場では撮影できるところと時間が限られているので試行錯誤していますが、まだまだ至らぬ点については課外活動の一環ということでご海容ください。

大東文化大学外国語学部日本語学科
福盛貴弘